

- 台東病院・老人保健施設千束だより
- 当病院・施設でのひとこま紹介
- 地域交流活動日記⑫
 街かどけんこう教室

あさがお通信



院長就任のご挨拶

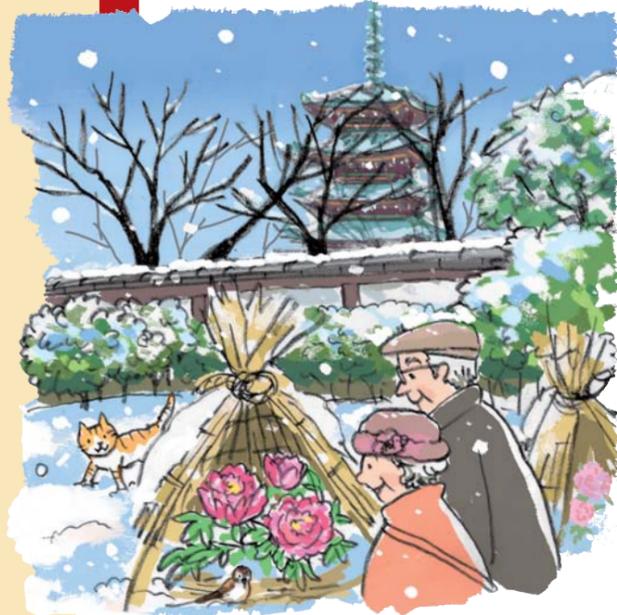
平成21年に開設した台東区立台東病院・老人保健施設千束も5回目の冬を迎えました。昨年10月には、開設準備室から施設を引っ張ってきた山田隆司管理者兼病院院長が管理者専任となり、老健施設長であった私が病院長に就任いたしました。老健施設長に就任した片見厚夫元副院長と太田雅弘副院長とともに、台東病院・老健千束をますます魅力あふれた施設にしていきたいと思えます。

台東病院・老健千束は「ずっとこの町で暮らし続けたい」を応援します」という一風変わった理念を持っています。住み慣れた地域に暮らし、病気になるれば医療を、年をとって体が不自由になれば介護を、その地域で提供することを「地域包括ケア」

と呼びます。台東区において、近隣のクリニックと病院、介護事業者などと密接に連携を取り、得意とするリハビリテーションを生かして高齢者を中心とした医療と介護を提供し、地域包括ケアを実現すること、これが台東病院・老健千束の使命です。特に在宅医療を支えることを重視しており、病院の一般病棟と回復期リハ病棟、療養病棟、老健の認知専門棟と一般棟が一体となり、皆さんの暮らしを支えていきたいと考えています。今年度は病院機能評価を受審する予定です。今病院あげて一生懸命準備をしています。

平成26年も台東病院・老健千束をより美しくお願いたします。

病院長 杉田義博



「ずっとこの町で暮らし続けたい」を応援します

地域公開行事予定

ミニコンサート
 (13:30~14:00)

2月26日(水) 「相撲甚句」
 城東相撲甚句会



※地域公開行事の詳細はエントランスホールに掲示いたします

看護・介護職員募集

高齢者に寄り添い、人生を物語る
 優しいスタッフを募集いたします。

あなたのワークライフバランスに
 配慮した勤務も可能です。
 ご相談・見学を随時実施中ですので、
 下記までお気軽にご連絡ください。

- 連絡先：台東区立台東病院
 看護・介護部統括部長 風間 総務課 若林 まで
- 電話：03-3876-1001
- メールアドレス：taito@jadecom.or.jp

「あさがお通信」は院内の各部署が編集を担当していきます

今号は「事務部」が担当しました。

台東病院広報誌を楽しみにしていただいている皆様へまずは一言。発行が滞ってしまい、大変申し訳ございませんでした。

今回のあさがお通信で vol.11 を迎えることができました。あさがお通信は、院内の各部署が編集を担当します。

院内には、皆様からの声を聞く『患者さんの声』という意見箱がございます。皆様からの貴重なご意見、ご要望を、より良い病院、施設にするための参考にさせていただきます。台東病院へお立ち寄りの際は、是非ご意見をお寄せください。

台東病院・老健千束は「公益社団法人地域医療振興協会」の管理運営施設です。地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に開設され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

あさがお通信

発行元：台東区立台東病院・台東区立老人保健施設 千束
 〒111-0031 東京都台東区千束3丁目20番5号 / TEL 03-3876-1001



7月に行われた、ミニコンサート

演奏者のアーバンナイトジャズオーケストラの皆さんに、きれいな音色の演奏をしていただきました。1階のエントランスホールを含め、2階まで大勢の利用者さん、患者さんが集まり盛り上がったことは、写真を見ていただければ言うまでもありません!



病院前にある桜の様子

台東病院と桜の2ショット写真は、何かを感じさせられます。とても美しいこのショットを、ぜひ春の時期に見にいらしてはいかがでしょうか

当病院・施設でのひとこま紹介

7月の隅田川花火大会の様子



悪天候により、30分で花火大会中止という初の事態になってしまいましたが、その分、雨の中打ち上げられる花火は、とてつもなく迫力があり、今までには見られなかった花火を見ることができたと感じました

5月に行われた、地域のお祭り



地元の町会のこども神輿が院内に入り、待たれていた利用者さん、患者さんとふれあいました。こども達が利用者さん、患者さんへ元気を与えたことは、間違いのないでしょう

シリーズ 地域交流活動日記

No. **12**

【街かどけんこう教室】



当教室は定期的な開催を計画しています。実施日や内容は、台東区の広報誌などでお知らせします。健康について聞きたいテーマなどありましたら、職員にお声がけください。皆さんのご希望に沿った健康教室にしていきたいと考えています。

台東区立台東病院・老人保健施設千束では、待合健康教室をリニューアルし、平成25年9月より地域の皆さん向けに「街かどけんこう教室」を開催しています。

「街かどけんこう教室」は、地域の皆さんが関心のあること、知りたいことを医師、看護師、コメディカルスタッフが交代でわかりやすくお話しする場になっています。

第1回目は、杉田院長が「認知症を疑ったら...」というテーマで、今話題の認知症について、認知症とは何なのか、認知症になったらどうなるのかを地域の皆さんの前でお話しました。参加いただいた皆さんからのアンケートには、「非常にわかりやすかった」「またこのような機会を設けてほしい」などとたくさんのご意見をいただきました。

老人保健施設千束だより



通所リハビリテーション
 9月17日(火)に恒例の敬老会を開催しました。今年「地域文化に触れ合う」をテーマに、浅草かつぼれ保存会のご協力のもと力強いかつぼれ音頭を披露していただきました。また長唄・踊りなどに利用者さんも参加され、楽しい時間を過ごしていただくことが出来ました。

また、3回目の参加となる台東区寿作品展には、作業療法の一環として利用者さんが作った花火をモチーフにしたバッチワークを展示しました。これからも利用者さんが地域とつながりを持ち、「ずっとこの町で暮らし続けたい」を応援する通所リハビリテーションでありたいと思っています。

8階



西の市に行つて参りました。11月3日に施設の裏、歩いてすぐの鷲神社の西の市に、利用者さんと一緒に行つて参りました。毎年の施設行事として、利用者さんも職員もとても楽しみにしています。昨年、2020年に東京オリンピックの開催が決まり、喜ばしい年になりました。利用者さんと一緒に「景気が上向きになりますように」と祈願しました。利用者さんにとつての外出は大切なリハビリテーションの機会です。この機会に、浅草ならではの賑やかな街の空気と、少し寒くなってきた冬の気配を感じ取れたのではないかと思います。また、「来年も一緒に行きましょうね」と約束し、人通りの多い賑やかな街と、威勢のいい声を後にしました。



7階

7階は老人保健施設一般療養フロアです。利用者さんには、療養室で自宅と同じように過ごしていただいています。

また、入所中はレクリエーションやリハビリをはじめ、頭脳や身体を使う体操をしながら安心安全に過ごしていただけるように職員一同心掛けています。

是非一度、見学にいらして下さい。

6階

9月吉日、ささやかではありますが敬老会を開催しました。利用者さんたちによるコーラス隊は、口紅さして帽子にスカートの衣装で、「湯島の白梅」もみじを合唱。職員は、学生服、着物にかつらでちょっぴりコミカルな寛一お宮の名場面や合奏、オペラ蝶々夫人の独唱を熱演。最後には金屏風(っ)まで出て、緊張するやら笑うやら感心するやら。利用者さんの笑顔はとてもステキでした。

5階病棟

5階療養病棟は、急性期の治療を終えて長期にわたり療養が必要な方が入院する病棟です。長期間の入院は変化に乏しいため、季節を感じられるような装飾を病棟のいたる所に行っています。病院なのですが、レクリエーションの一環として、ひな祭りや甘酒を呑み、お祝いをし、お花見でお茶会を行ったこともありました。時折患者さんとの制作した絵や作品を掲示して、少しずつですが変化をつけています。

病棟の浴室は、入り口に「ゆ」の字のれんががかかっています。寝たまま湯船に入り、



浴槽が上下して湯に浸かれるようになっていた機械浴です。週2回行っています。寝たきりの方でも可能な限り湯船に入れるようにお世話をしています。長期間お風呂に入れない方も喜ばれています。

その人らしい毎日を送ることが出来るよう、私たちは日々考えてお世話をしています。



外来

外来では、禁煙・睡眠障害が保険診療で治療できます。また、経鼻内視鏡検査が受けられます。詳しい診療方法や費用につきましては、台東病院までお電話を!!

禁煙外来

●高橋麻衣子医師 ●毎週火曜日14時~16時、3ヶ月間の治療となります。3ヶ月を超えると自費扱いになります。



タバコをやめようとしたけどやめられなかった経験はありませんか? それは意志が弱いからと思いませんか? それは違います。タバコに含まれるニコチンのもつ強い依存性がやめにくくなるのです。その状況をニコチン依存症と呼び、喫煙者の70%を占めると言われています。当院の禁煙外来では、ニコチン依存症の方に禁煙成功率を高める薬剤を使用して禁煙する手助けをしております。気軽に相談下さい。

睡眠時無呼吸外来

●竹内 暢医師 ●日程はお問い合わせください。2回目以降は、予約診療が可能となります。

自宅にて睡眠中に機械を装着し、睡眠時の呼吸状態を調べます。必要があれば、入院(泊)していただき睡眠時に検査をします。

当外来では、いびき、無呼吸の検査を行っております。

いびき、無呼吸は、中年のかつぶくのいびきお父さんの病気とお考えでしょうか? いびき、無呼吸は、年を取ると中年期とはまた違うタイプのもので出てきます。特に女性の場合は、女性ホルモンが少なくなると、やせていてもいびきや無呼吸が出てくることが多いと言われています。

またいびきは、それ以外症状が何もない方もいますが、実は高血圧の原因にもなるのです。血圧の薬を3種類以上飲んでいて人は要注意ですので、一度主治医の先生にお尋ね下さってもいいかもしれませんね。

経鼻内視鏡検査

従来の方法の口腔からの検査はもちろんのこと、鼻から細めの胃カメラを挿入することで、吐き気が少なく検査できます。



3階病棟

3階病棟は、地域、当院の外来、地域の施設からの入院患者さんを受け入れるため、病棟間や老健と連携して、いつでも患者さんを受けられる状態にしています。

当病棟のスタッフは、台東病院に入院される患者さんに接するということが、つまりは「台東病院の顔」であることを自覚し、日々

業務に励んでいます。

「患者さんの声を大切に、いつも笑顔で活気のある病棟にしていきたい」と考えています。



4階病棟

当病院の4階回復期リハビリテーション病棟の紹介をします。

4階では、主に在宅復帰を目的とした患者さんが、毎日歩行訓練・作業訓練・言語訓練を行っています。

病棟スタッフ・リハビリスタッフ共に、日々ご家族を含め患者さんとの関わり(コミュニケーション)を大切に、患者さんが自宅に帰って安全に生活することができるよう、お互いに話し合いながら、訓練を見守り、お手伝いさせていただいております。

らし続けたい」を応援している、地域密着型のアットホームな病棟です。

4階はスタッフ一同とても元気で明るく、患者さんともとてもフレンドリーな病棟です。

エレベーターホールには、季節ごとにスタッフ手作りの装飾が飾られます。患者さんや面会の方々に大変好評をいただいておりますので、機会があればご覧下さい。

年齢に関係なく人間には可能性があるということを尊重し、「ずっとこのまちで暮

らして続けたい」を応援している、地域密着型のアットホームな病棟です。